

平成24年第1回定例会（3月）一般質問

（5）社会教育における社会福祉や防災分野との連携について

○ 議員 宮下裕美子 それでは次の質問に移ります。最後は教育長に対する質問です。社会教育における社会福祉や防災分野との連携について、この連携については過去の経緯として平成23年第1回定例会ちょうど1年前のこの定例会の一般質問の時にやはり教育長の執行方針のところで他の分野との連携が必要ではないかというお話をさせていただきました。また本年度においてはまちづくり常任委員会で社会教育の所管事務調査をした折りに、この連携について各委員から意向が出て最終的には報告書の中にも同じような趣旨の指摘があったと思います。社会福祉との連携は例えば社会分野で教育的効果を狙った取り組みです。公文式を活用した痴呆予防の取り組みなどが現実に行われています。それと別に高齢化時代に生きていく知恵として福祉分野の教育は必要で、福祉の仕組みや健康維持などの知識、学校でいうと社会・保健・家庭科の教育的側面が重要になっていると認識しています。防災分野の連携からいうと今までも出てきたし教育長の執行方針でもありましたが、防災を強化するときに教育の役割は欠かせないと認識しています。東日本大震災被災地では防災教育を受けていた子どもたちが先頭になって避難し、地域を救った事例があります。避難所運営でも防災知識のある子どもたちが活躍した事例も上がっています。学校教育に防災教育を導入するだけでなく、社会教育として取り組むあるいは連携することで月形町が一体となった意識と知識を高めて、災害に強い町になる。子どもから高齢者まで一体となった防災訓練も可能になると考えます。先ほど言った報告書も含めて議会の意向を踏まえて、社会教育における社会福祉や防災分野との連携をどのように考え、どう取り組んでいくのか。今回の執行方針では社会教育分野に関して文化芸術やスポーツ分野に取り組みがうたわれていましたが、それ以外の分野との連携について触れられていませんでしたので、そこについて質問いたします。

○ 議長 笹木 英二 教育長

○ 教育長 松山 徹 ご質問についてお答えいたします。いくつかの事業で福祉と他の部門と連携して防災も含めて取り組んでおりますので、ご紹介します。新しいところでは2月21日、3月9日に開催したヘルシークッキング教室は、保健センターと連携して取り組んでチラシも入れて開催しております。生涯学習講座のそば打ち体験も従前は教育委員会単独でしたが、保健センターと連携して取り組んでおります。私ども教育委員会では高齢者教育ということで取り組んでいますが、特にふれあい大学においては認知症予防というこ

とで保健センターの事業でしたが、ふれあい大学講座に入れて昨年度展開しております。従前より町の文化祭では大学の生徒の作品や活動について展示や発表など披露しております。また新たに町内ごみ処理場を見学し、ごみ分別について学習を行っています。防犯についてもIP電話の活用に伴って防災に関わる説明会も実施しています。以前は警察署と連携して防犯・防災に関する署長の講話もいただいています。また「つきがた・まんまる・ハナメロ体操」という軽体操ですが、認知症予防や健康増進などの体操にも取り組んでおります。最後にご指摘のあった防災ということから23年度の実績からお話させていただきますが、子どもミニバレーボール大会閉会式で通告なしで火災を想定した避難訓練を実施しており、その際の人数は子ども、地域住民を含め150人が参加しております。この後体育館の夜間定期利用にむけて避難訓練を行う予定です。他にアレンジフラワー教室では作品を町文化祭に展示していますし、参加者がクリスマスだけでなくお正月のしめ縄等を作って飾りたいという声もいただいております。また昨年度から始めた読書活動の充実ということで、毎月実施している乳幼児検診の際にブックスタート事業や移動図書を行っています。更に3月8日保健センターで開催したなごみ会でも保健センター事業で移動図書を開催しており、その際には「元は図書館に通っていたの。」と言って9名の方が14冊の本を借りて好評であり、懐かしがっておりました。関連では以前講座であみもの講座を実施していましたが、そこに参加した方々が自発的にサークルを作って、今回の大震災に支援物資を送ったと聞いております。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 今、教育長から現在取り組んでいることを聞いて、多くのことが初めて聞く内容でしたので、11月の段階の所管事務調査をやったときにはこのような説明がなかったので、その後、日付を聞いて冬場に行われている様々な活動の中で展開されていると考えますので、その後色々修正されてこのようなかたちで活動が進められたと感じています。今まで個別の色々な展開だったと思いますが、今後教育委員会として福祉分野・防災など危機管理分野・産業など総合的に事業の展開を取り入れることが主だったと思いますが、相互連携ということで教育委員会側がもっと出るあるいは福祉分野でも例えば今福祉分野は非常に仕事量が増大して負担が大きくなっていますので、ある一部分を教育分野で引き受ける。様々な分担整理を行いながら将来的に一層連携が深まる方向に行くのか。それとも本年度は単発的なかたちで業務終了して行くのか、将来展望について、もう一度、お伺いします。

○ 議長 笹木 英二 教育長

○ 教育長 松山 徹 私どもは教育委員会ですから教育ということがやはり主になってくると思っております。町民を対象とした福祉や防災ということで冠を付けるとしたら、これが当該ノンセクションではないかと思っております。教育のねらいを考慮しつつ連携や協力しようと考えております。午前中の議会の中で楠議員から一般質問がありましたように、総合福祉計画がこの後立ち上がると聞きましたので、総合福祉計画に則って教育の中でも位置づけて行きたいと思って、連携できるところは連携して行きたいという姿勢は持って行きたいと考えていますが、教育の狙いというものを踏まえて行かなければならないと思っております。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 了解しました。

○ 議長 笹木 英二 先ほど宮下議員から3番目の質問の時に町長がハウスの型の説明をしたと思いますが、その時に正副議長と型の話をしたという説明がありましたが、私もはっきりと聞いていなかったのが分からなかったのですが、副議長と先ほど話したのですが、型の話は町長から聞いていないと思うのです。

○ 議長 笹木 英二 町長

○ 町長 櫻庭 誠二 今資料を見て確認しましたら議員協議会でその説明をしており、正副議長との話合いの時ではない。前段の3月2日に説明しているということです。勘違いをお許しいただきたいと思えます。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 最後確認ですが、先ほどの答弁では変形ハウスの型は助成の対象にするとおっしゃってました。

○ 議長 笹木 英二 対象にしないということですね。

○ 議長 笹木 英二 町長

○ 町長 櫻庭 誠二 これは対象にします。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 分かりました。